

# 続 オンライン 日本モンキーセンター 霊長類学 基礎講座

日本モンキーセンターがオンライン会議アプリ Zoom を使ってお届けする  
霊長類の基礎講座です。学術部のスタッフがそれぞれの専門分野の立場から  
霊長類の魅力をご紹介します。

※2020年11月から2021年1月にかけて開催した「オンライン霊長類学基礎講座」の続編です。  
※視聴には Zoom が使える環境が必要です。基本的に大人向けの内容です。

**参加費 各回 800円**

**定員 各回 90名**

**時間 20:00~21:15** ※若干前後する場合があります。

**受付締切り 開催日の17:00まで** ※定員に達し次第締切り

**申込み** Yahoo! JAPAN の

**パスマーケットよりお申込みください**

<https://passmarket.yahoo.co.jp/>



※申込みいただいた方には、講座当日の2時間前までに、講座を視聴できる  
URL をパスマーケットからお送りします。

**お問い合わせ**

公益財団法人 日本モンキーセンター 学術部

TEL 0568-61-2327 E-mail [entry@j-monkey.jp](mailto:entry@j-monkey.jp)



## 第1回 2/12 (金) 「骨が語る霊長類の進化」 高野 智

(日本モンキーセンター・キュレーター)

動物の骨には進化の歴史やくらしに関する情報が刻まれています。現生、化石を問わず、研究者たちは骨を手がかりに進化を読み解いてきました。霊長類の進化はいかに骨に封じ込められているのでしょうか。いくつかの実例に則して見てみましょう。

## 第2回 2/26 (金) 「博物館資料の裏側」 新宅 勇太

(京都大学霊長類研究所・特定研究員 /  
日本モンキーセンター・キュレーター)

博物館にとって「資料」はさまざまな活動を支える基盤です。日本モンキーセンターには13000点を超える標本を保管しています。この回では博物館における資料の役割、そして日本モンキーセンターの標本作成と管理の裏側などをお話しします。

## 第3回 3/12 (金) 「大型類人猿の発達」 林 美里

(日本モンキーセンター・学術部長)

ヒトに近い大型類人猿は、子どもの時期が長く、母親や周囲の大人からたくさんのことを学び成長していきます。子どもの発達過程を種間比較することで見えてくる、霊長類的基盤とヒトの特徴をご紹介します。

## 第4回 3/26 (金) 「行動観察法」 田和 優子

(京都大学野生動物研究センター 特定研究員 /  
日本モンキーセンター・キュレーター)

「こんな行動が多く見られた」という観察結果を人に伝える際、具体的な数値データがあると説得力が増します。紙と筆記具を準備し、サル動画を見ながら行動を記録してみませんか？どのサルの行動観察をおこなうかは当日のお楽しみ。

## 第5回 4/9 (金) 「霊長類の食性と生態」 赤見 理恵

(日本モンキーセンター・キュレーター)

以前の講座「霊長類の社会と生態」では、社会(つまり種内関係)を中心に霊長類の生態をご紹介しました。今回は食べる・食べられる関係など種間関係を中心に、霊長類の多様な生態を、野生や飼育下での事例を見ながらご紹介します。

## 第6回 4/23 (金) 「日本人と猿」 新宅 勇太

(京都大学霊長類研究所・特定研究員 /  
日本モンキーセンター・キュレーター)

裏山に猿がいる。日本では普通のことであり、ニホンザルは私たちにとって身近な存在です。日本の文化の中には昔話や干支をはじめとして、さまざまな場面で猿が登場します。この回ではこれまでの生物学の内容から視点を変えて、日本人と猿のつながりをご紹介します。

## 第7回 5/14 (金) 「フィールドワークこぼれ話」 高野智、赤見理恵、新宅勇太

(日本モンキーセンター・キュレーター)

動物の研究には欠かせないフィールドワーク。でも、ひとくちにフィールドワークといっても、場所や研究の目的によって中身は大きく異なります。今回は、化石、ニホンザル、ボノボについて、調査の様子やこぼれ話をオムニバス形式で紹介いたします。

## 第8回 5/28 (金) 「類人猿とヒトの来た道」 高野 智

(日本モンキーセンター・キュレーター)

つい忘れがちですが、ヒトも霊長類の一員です。人類はチンパンジー、ゴリラ、オランウータンとともにヒト科に分類されます。ヒト科は霊長類の中でも独特の特長を遂げたグループです。今回はヒト科の進化について、化石記録から概観してみましょう。